

英国金融政策（2025年2月）

市場予想通り0.25%ptの利下げを決定

2025年2月7日

インフレ率は当面の上昇後、2027年末に2%に低下との見通し

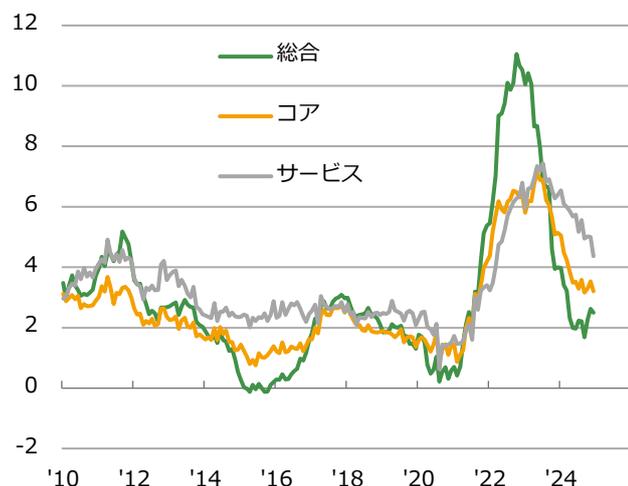
BOE（イングランド銀行）は2月5日（現地、以下同様）に終了した金融政策委員会（MPC）で、政策金利を4.75%から4.5%へ引き下げる決定をし、6日に発表しました。昨年の8、11月に続く利下げです。0.25%ptの利下げは市場予想通りでしたが、票決は7対2で、0.5%ptの利下げを支持した2名のうちに、これまでタカ派と目されていた委員が含まれていたことが市場でサプライズと捉えられました。

利下げの理由は「国内物価と賃金におけるデスインフレの十分な進展」で、これまでの引き締めの金融政策がインフレの二次的影響を抑制し、期待インフレ率を安定させてきたと声明文に記しています。もっとも、今後の金融政策については「十分に長く引き締めであり続ける」との従来の記述を踏襲し、「金融引き締めへの更なる解除へは漸進的で注意深い対応が適切」としました。「注意深い」は新たに加えられた文言で、最近の不確実性の高まりを反映したものと考えられます。

四半期に一度の金融政策報告書では、今後1年程度の実質GDP成長率の見通しを下方修正する一方、インフレ率については見通し期間の3年に亘って上方修正しています。インフレ率は2025年7-9月期まで一旦上昇するものの、エネルギー価格が主因で持続的ではなく、その後は再び低下し2027年末に目標値の2%に達するとの見通しです。中期的な物価安定の見通しは不変であり、現在の政策金利は中立金利を十分上回っていると考えられることから、四半期毎に0.25%ptの利下げを継続すると当社は予想しています。

英国の消費者物価指数

(前年同月比、%) (2010年1月～2024年12月)



※コアは食品・エネルギー・アルコール・タバコを除く系列

(出所) 英国統計局

英国の金利と為替

(%) (2020年1月初～2025年2月6日) (米ドル/ポンド)



※政策金利は発表日ベース

(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management